No.75
2025(令和7)年
10月31日発行

三沢市議会だより きずな

[きずな]題字制作
三沢商業高等学校2年　小笠原帆花さん

TOPICS

■P３　決算審査の質疑応答
予算の使われ方をチェック！
■P４　７人が登壇！一般質問レポート
子育て・防災…気になるアレコレを質問
■P８　委員会でなにを話したのか？
基地のこと、暮らしのことを少人数で深く

全日本社会人ホッケー選手権大会

９月６日から９月１０日にかけて、２０２５年度全日本社会人ホッケー選手権大会が三沢高等学校グラウンドで行われました。試合風景は男子ホッケー、青森県代表の青森クラブ(赤のユニフォーム)の試合の様子です。女子ホッケーでもH・F・CーHANNOの浪岡栞奈さんをはじめ、三沢市出身の選手が多数活躍されていました。

三沢市議会 facebook　三沢市議会 Instagram

令和7年第3回定例会
令和6年度の各会計決算を認定

令和７年三沢市議会第３回定例会が、９月１日から９月12日までの12日間の会期で開かれました。

本会議初日には、令和６年度の一般会計及び各特別会計決算のほか、各事業会計決算や令和６年度一般会計補正予算などの議案が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

４、５日は、７名の議員が市政に対する一般質問を行い、議案に対する総括質疑がありました。８日には条例等審査、９日は補正予算審査、10日には決算審査などそれぞれ付託された議案の審査のため、特別委員会が開催されました。

12日の本会議最終日には、各委員会から付託議案の審査結果報告があり、全20議案が原案どおり認定・可決・同意され閉会しました。

○…賛成　×…反対　欠…欠席　退…退出　ー…議長は表決に加わりません。
除…除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）

議案	結果（賛成：反対）	市民クラブ											かがやき		緑政クラブ		無会派		
		加澤明	浅野一朗	小比類巻大晃	久保田隆二	船見昌功	小比類巻孝幸	下山光義	佐々木卓也	瀬崎雅弘	小比類巻雅彦	馬場騎一	遠藤泰子	西村盛男	澤口正義	堤喜一郎	鈴木重正	奥本菜保巳	春日洋子
認定第　1　号	認定（16：1）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
認定第　2号～第　8号	認定（17：0）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第４５号～第４６号	可決（17：0）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第４７号～第５０号	可決（17：0）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第５１号～第５５号	可決（17：0）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第　５６　号	同意（17：0）	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

討論

今定例会では、次の１つの議案について討論が行われました。

◇認定第１号
令和６年度一般会計決算

反対　奥本菜保巳 議員

施設の維持管理費等が財政を圧迫し、物価高騰支援策や新規就農者支援への市財源持ち出しは乏しい。予算の抜本的見直しが必要なため一部反対する。

賛成　小比類巻大晃 議員

財政運営の健全性を維持しながら、市民生活の維持・向上に配慮し、必要性、緊急性を考慮した予算執行となっているため賛成する。

■ 認定第１号　一般会計決算
■ 認定第２号　国民健康保険特別会計決算
■ 認定第３号　食肉処理センター特別会計決算
■ 認定第４号　介護保険特別会計決算
■ 認定第５号　後期高齢者医療特別会計決算
■ 認定第６号　水道事業会計決算
■ 認定第７号　下水道事業会計決算
■ 認定第８号　三沢市立三沢病院事業会計決算
各会計における令和６年度予算の執行実績の認定

■ 議案第４５号　一般会計補正予算
■ 議案第４６号　三沢市立三沢病院事業会計補正予算

■ 議案第４７号　乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（最低基準）を定める

■ 議案第４８号　移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

■ 議案第４９号　上下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び三沢市立三沢病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
職員が部分休業の承認を受けて１日の勤務時間の全部について勤務しない場合等に給与額を減額する

■ 議案第５０号　水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定
災害時等において、他の市町村長が指定した事業者等が給水装置工事及び排水設備工事を行うことができるよう改正を行う

■ 議案第５１～５５号　財産の取得
情報提供施設機器、高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材等、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）、学習者用コンピュータ等（ｉＰａｄ）

■ 議案第５６号　人権擁護委員任命の同意
任期満了に伴い引き続き石橋ふみ氏、小山石由貴子氏、内山祐子氏及び新山勉氏を推薦する

９月１０日開催

決算審査特別委員会

◎馬場　騎一　○瀬崎　雅弘　浅野　一朗　小比類巻大晃
久保田　隆二　船見　昌功　小比類巻孝幸　鈴木　重正
遠藤　泰子　下山　光義　奥本　菜保巳　澤口　正義
西村　盛男　春日　洋子　小比類巻雅彦　堤　喜一郎
◎：委員長　○：副委員長

令和６年度決算８議案については、16名の議員による決算審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

認定第１号　一般会計決算

Q 医療的ケア児総合支援事業の潜在的な利用数は？

A 現在、医療的なケアが必要な児童は６人おり、その全員がサービスを利用している。

Q 住宅取得事業を利用した方の年代は？

A

年代	件数（人）
２０代	２３
３０代	３５
４０代	１８
５０代	５
６０代	５
７０代	１
９０代	１
計	８８

Q スケートボード競技需要調査補助金の調査結果は？

A 令和６年３月から令和７年８月までで、小学生７８９人、中学生51人、高校生２１２人、大人４０７人の計１４５７人が利用している。現在、２年間の調査中のため、利用数などの結果から継続・撤退を決定する。

Q 妊活・不妊相談サービス業務委託料の利用人数や利用者の感想は？

A 令和６年度は利用者が36人おり、相談件数は41件。委託業者からの報告では、相談しにくいことをＳＮＳや通話で相談できて助かっているなどの声があった。

Q 起業化支援事業費補助金の申込数と予算を超えた申込があった場合の対応は？

A 令和６年度は９件応募があり、その後１件辞退の申し出があったため、計８件分交付した。予算を超えた場合は補正などで対応、もしくは次年度に再度申込してもらうなど、申請者と相談しながら取組を進めている。

Q 第一中学校校舎建替事業の業務委託料の内訳は？

A 耐力度調査と基本設計の業務委託料となっている。耐力度調査の結果は、関係当局に報告しており、より高い補助率を受けるため協議を進めている。

耐力度調査とは？

公立学校施設の建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の３点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するもの。調査の結果、所要の耐力度点数に達しないものは、建替事業の対象となる。

Q 第一中学校建替の今後のスケジュールは？

A 令和６年に実施した基本設計を受けて、令和８年に実施設計を行うため、令和７年度に予算の概算要求と実施計画を関係当局と進めている。

工事の計画は、計画通りに進んだ場合、令和９年度から着手し、令和13年度に完成予定となっている。

９月９日開催

補正予算審査特別委員会

◎小比類巻孝幸　○船見　昌功　小比類巻大晃　鈴木　重正
澤口　正義　西村　盛男　小比類巻雅彦　馬場　騎一
◎：委員長　○：副委員長

補正予算２議案については、８名の議員による予算審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

議案第45号　一般会計補正予算

Q ふるさとまちづくり寄附金推進事業の内訳は？

A ふるさと納税の申込増加見込みのため、返礼品調達経費として６４３万円、そのほか転出者・イベント用アピールチラシ作成委託料、動画広告委託料など。

Q 今後のＤＸの方向性は？

A 令和８年度は市民課など窓口のローカウンター化、書かないシステムの導入、以降は窓口を回らない手続きなどを検討している。

９月８日開催

条例等審査特別委員会

◎久保田　隆二　○下山　光義　浅野　一朗　遠藤　泰子
奥本　菜保巳　瀬崎　雅弘　春日　洋子　堤　喜一郎
◎：委員長　○：副委員長

条例等９議案については、８名の議員による条例等審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

議案第47号　乳幼児等通園支援事業

Q 今後のスケジュールは？

A 今年度から実施意向の施設は、条例施行前に事前協議を行い、条例施行後に施設より本申請を行ってもらい、10月中に認可通知予定。また、使用者からの申請は、10月１日以降受け付ける。

議案第54号　財産の取得

Q ＡＥＤの更新台数と設置場所は？

A 48台更新し、設置場所はスポーツ施設、福祉施設、児童施設など。

西村盛男（にしむら　もりお）議員

市長市政

Q 市長が残りの任期中、重点的に取り組みたいと考える施策は？

A まずは、岡三沢５・６丁目地区の個人・集団移転を１日でも早く実現したい。

また、焼山（堀口）地区活性化に関する取組や公共施設等の適正管理に向けた検討を加速させることに加え、財政状況が厳しい中ではあるが、国や県の補助を活用するなどして、既存事業の充実や住民の求める政策に注力したい。

教育問題

Q「学用品の学校備品化」について、市内小中学校の現状は？

A 現在、要保護・準要保護世帯等に対しては、入学時を含めた学用品等の購入補助を行っているが、その他の世帯に対する補助等は行っていない。また、算数セットや彫刻刀、裁縫セットといった教材の学校備品化は実施しておらず、保護者負担となっている状況である。

Q「学用品の学校備品化」に向けた今後の取組は？

A 国や県の対応や他自治体の取組事例等の調査を進めながら各学校へのヒアリングを実施し、保護者負担で購入している学用品のうち、学校備品化にできるものを精査していく。その上で、保護者負担が軽減され、教育環境の向上にも繋がっていくような学校備品の整備が実現できるよう協議を進めていきたい。

学用品の学校備品化とは？

児童・生徒が使用する文房具や教材などを家庭で購入せず、学校が備品として用意・管理する取組。経済的負担の軽減や教育格差の是正を目的とし、誰もが平等に学べる環境を整えることが期待される。

各議員の一般質問は議員写真横の二次元コードを読み取りYouTube で視聴することができます

鈴木重正（すずき　しげまさ）議員

教育問題

Q ブックスタート事業に続く、国際文化都市Ｍｉｓａｗａにふさわしいセカンドブック事業の検討状況は？

A 今年10月から新事業として３歳児健診に訪れる親子を対象に、英語絵本の読み聞かせ、「Everyone's English事業」を実施することとした。

読み聞かせは外国語指導助手が担当し、絵本については子どもが一緒に掛け声をあげ、体を動かすなど五感で楽しめ、家庭でも継続して読み聞かせができるよう、三沢市電子図書館の蔵書から選定して実施する。

Q 市内小中学校における「ラーケーション」導入の検討状況は？

※「学習（ラーニング）」と「休暇（バケーション）」を組み合わせた造語。平日に家族や保護者と一緒に校外学習を行うことを目的とした休みを取得できる制度。

A 制度を導入している自治体の取組状況調査や意向調査を行い、結果を基に協議した結果、今後ラーケーション制度を試行的に導入し、改めて児童・生徒やＰＴＡ、学校等にアンケート調査を実施し、評価・検証を行ったうえで、制度の運用を進めたい。

行政問題

Q「孫休暇」導入の検討状況は？

※祖父母が孫の看護や育児支援などのために取得できる特別休暇制度。

A 孫休暇制度については、現在運用面を精査しており、決まり次第、年内に規則を改正し、令和８年１月１日施行に向けて準備を進めている。

そのほか、防災、シティプロモーションについて質問しました。

小比類巻大晃（こひるいまき ひろあき）議員

農政問題

Q 本市の農地バンク事業の進捗状況は？

A 令和６年度末までの当市の実績は、農地を貸した人数が述べ８４２人、農地を借りた人数が述べ２６９人、貸借契約が成立した面積は７３６・４ヘクタールである。令和12年度までに受け手への農地集積率を70％にする国の目標に対し、三沢市の集積率は60・７％となっている。

Q 農地集約化への今後の進め方は？

A 規模拡大を希望する方の情報収集、継続的な集落座談会の開催、中小規模農事業者の意見調査をして集約化を着実に進めたい。

観光問題

Q「ＭＩＳＡＷＡプロモーションリーダーズ」の事業概要と今後の取組は？

A この事業は、ＳＮＳフォロワー数が約１万人以上の当市出身又は当市にゆかりのある著名人が、観光情報や特産品などについて、ＳＮＳ等を活用して情報発信を行うもので、現在、俳優やタレント等８組の方にお引き受けいただいている。

総フォロワー数は78万人超で、情報発信の効果は大きいものと期待している。今後は、当市の魅力を全国に届けられるよう事業の充実に努めてまいりたい。

Q 市民へのリーダーズ周知方法は？

A 市のホームページやマックテレビ、ユーチューブ等で発信予定。

Q リーダーズ活動予定は？

A ホッキーナちゃん、ほきのすけの応援、三沢ブランド認定品の食リポ、観光施設の紹介配信、ＭＩＳＡＷＡＢＢＱジャンボリーにも出演予定。

▲小檜山市長から委嘱状を手渡される声優の山本希望さん（写真右）

遠藤泰子（えんどう やすこ）議員

行政問題

Q 国はスフィア基準等を踏まえ、避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針などを改定したが、当市の避難所の環境対策の状況は？

A トイレについては、20人に１基の基準を満たしており、ラッピングトイレの配備も目指している。居住スペースについては、一人当たり３・５平方メートルを確保することは難しい状況となっている。今後は、長期間の避難にも耐えられるよう快適な環境の整備に努めて参りたい。

スフィア基準とは？

正式名称を「人道憲章と人道支援における最低基準」といい、人道支援における最低基準を定めた国際的なガイドラインで、災害や紛争時に被災者の人間を守ることを目的とし、水・食料・住居・保健などの分野で具体的な基準を示している。

Q 歩道や車道に草が伸び、通行に支障がある状況が市内各所に散見されている。特に通学路の安全確保は緊急性が高いものと思う。歩道は誰が除草をするのか、役割を整理し、明確化するべきと考えるが、今後の方針は？

A 現在、日常的に６人体制でパトロールしており順次対応しているが、外部委託も検討したい。歩道の改修も含め、適切な歩道の管理を実施して参りたい。

Q 除草が追い付いていない状況であるので、市民や団体等に協力をお願いするなど検討すべきでは？

A 企業に対して、ボランティア対応を働きかけていきたい。

▲道路パトロール車。三沢市では３台配置している。

奥本菜保巳（おくもと　なおみ）議員

行政問題

Q 物価高騰で苦しむ市民への支援策についての市の考え方は？

A 国の交付金を最大限活用すること。今後は国の施策の動向を注視し、市独自の施策も検討したい。

Q 市独自の財源で「おこめ券給付事業」の対象を生活困窮者へ拡充すべきでは？

A 現在のところ考えていない。

Q フードバンクの取組状況は？

A 生活福祉課の相談窓口にて、食料支援が必要な相談者に対して無償提供をしている。

Q 町内会や民生委員と連携して生活困窮者に食料支援を行うべきでは？

A 検討してまいりたい。

Q 市内居住の外国人数は？

A 令和６年度末で、６９４人。主な国籍は、ベトナム、フィリピン、アメリカ、中国、韓国。

Q 外国人労働者の雇用状況は？

A 食料製造業、農業、建設業、漁業、介護等の幅広い分野で、４７２名が、人材不足を解消する即戦力として貢献されている。

Q 外国人優遇の実態は？

A 国民健康保険、生活保護について、日本人より優遇されている実態はみられない。

Q 三沢市の外国人の人権尊重と多文化共生の考え方は？

A 市内居住の外国人を、一個人一地域住民として、人権を尊重し、異文化理解教育講座や語学講座、国際交流イベントを通じて、多文化共生社会への理解を図っている。

Q 高齢者エアコン設置助成（三戸町実施）を実施すべきでは？

A 高齢者の生活調査等で、エアコン設置の有無と必要性を精査し、検討してまいりたい。

各議員の一般質問は議員写真横の
二次元コードを読み取り
YouTube で視聴することができます

春日洋子（かすが　ようこ）議員

行政問題

Q 津波警報発表時の対応及び避難状況の検証結果は？

A 庁内ではビジネスチャットツールの活用、業務手順の細分化、役割分担の明確化を図り、「道の駅みさわ」への支援物資、情報伝達機器を備え、防災体制の強化に努める。

Q 津波避難タワーの設置についての見解は？

A 命を守る有効な手段のひとつであり、他自治体の現状や課題等について調査し、引き続き検討していく。

Q「赤ちゃん用段ボールベッド」の配備予定は？

A 乳幼児を抱える家庭が避難をためらうことのないよう、導入に向け先進自治体の実績を調査していく。

Q 三沢市公式ＬＩＮＥの機能追加の予定は？

A 住民票などの証明書の申請機能の追加に取り組んでおり、電子申請の対象サービスを充実させ、利便性の向上に努めていく。

▶三沢市公式ＬＩＮＥ。防災情報や各種イベント情報が配信されている。

Q 障がい者用駐車場への屋根の設置についての見解は？

A 各施設所管課や関係機関等と連携し、国や県の動向等も見極め、設置について検討していく。

Q 若年がん患者への在宅療養支援は？

A 支援体制を整えることは、患者本人、家族の精神的、経済的負担の軽減につながることから、支援事業の早期導入を検討していく。

Q 朝の「小１の壁」の今後の取組は？

A 関係各所とも協議し、教職員以外が見守る体制への移行や居場所を含め、対応を検討していく。

浅野（あさの）　一朗（いちろう）　議員

行政問題

Q 各集会施設のエアコン設置の現状は？

A 市が所有している集会施設は全部で53施設あるが、エアコンが設置されている集会施設は全施設の25％となっており、残りの75％は未設置の状況となっている。

地域の集会施設におけるエアコンの適切な設置・運用は暑さ対策として不可欠であるため可能な限り早急にエアコンを設置していきたい。

Q エアコン未設置の集会施設について市民からの意見・要望は？

A 近年の厳しい暑さの中で、エアコン未設置施設において市民から意見や要望をいただいている。本年７月に行われた参議院通常選挙の投票所となった集会施設に訪れた方々からエアコン設置の要望があった。まずは利用頻度の高い施設や緊急性の高い箇所を優先するとともに補助申請をされた町内会に対しての補助制度を早急に検討してまいりたい。

Q 下水道管の現状と整備スケジュールは？

A 汚水管は標準耐用年数を超過していないが、雨水管は約17キロの内３・３キロがこの年数を超過している。通常点検に加え、巡回回数を増やしており安全性で問題はないと考えている。

今後の整備スケジュールとしては、汚水管は未整備地域の整備を行い、雨水管は令和８年度から新たな整備を計画している。今後も衛生的で住みよい環境づくりに努めてまいりたい。

汚水管・雨水管とは？

・汚水管
生活排水や工場排水などの汚れた水（＝汚水）を集めて、下水処理場へ送るための管。

・雨水管
雨水や融雪水などを排水するための管。雨水を集め、川や海へ流す役割がある。

総括質疑

上程された議案について総括質疑をすることで、市長等に対して答弁を求めることができます。

議案第１号令和６年度一般会計予算

鈴木重正　議員

Q 監査委員からの意見をどう受け止め、今後どのような取組を進めていくのか？

A 令和６年度の実質収支額は黒字決算となったが、人件費や物価高騰による経費の増加など今後の財政運営は厳しさを増すことが見込まれており、監査委員からの意見等を非常に重く受け止めている。

中長期的な見通しを踏まえた上で、ふるさと納税などの収入確保の取組を推進し、経費の精査や既存施設の縮小・統廃合など経費の削減を進め、市民サービスの向上と持続可能な行政運営の両立を図りたい。

▲総括質疑はこちら

議会マメ知識「定例会・臨時会」の違いは？

地方議会には、定期的に招集される定例会と必要のある場合に招集される臨時会があります。

定例会

条例により定例会は年４回と定められており、通常３月、６月、９月、１２月に招集されます。

臨時会

急に特定の事件（議会で議決しなければならない案件）が生じた場合に開催される議会をいいます。

Q 議会の招集は誰がするの？

A **基本は市長が招集します。**

その他、議員定数の４分の１以上の議員から、もしくは議会運営委員会の議決を経て議長から招集の請求があった場合、市長は２０日以内に臨時会を招集しなければなりません。市長が招集しないときは、議長が臨時会を招集することができます。

基地対策特別委員会

◎小比類巻 雅彦　○春日 洋子　浅野 一朗　舩見 昌功
小比類巻 孝幸　澤口 正義　西村 盛男　馬場 騎一

本委員会では、5月に開催した会議で決定した今年度における三沢基地周辺対策に関する7項目の要望事項について、7月15日に東北防衛局及び県選出国会議員へ、翌16日には防衛省に対し要望行動を実施いたしました。

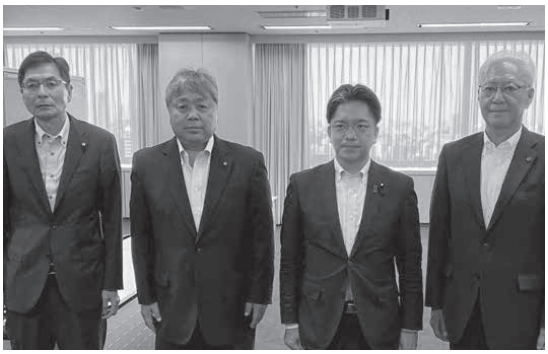
国から、要望項目についてそれぞれ回答があり、「配備機種の更新に係る対応について」の項目では、「情報が入り次第、速やかに情報提供をするとともに、訓練や運用の在り方は引き続き米側に申し入れていく」との回答がありました。

こうした中で特に、「岡三沢5・6丁目地区の早期移転について」は、住民からの強い要望を受けており、国に対して早急な措置を強く求めました。しかしながら、国からの回答は、これまで国から受けた説明とは異なり、具体的な計画や進捗状況が一切示されず、本委員会が期待していた進展はなく、非常に残念な結果でありました。

この状況を重く受け止め、8月20日及び21日に、執行部からは副市長と政策部長、議会からは議長と委員長の計4名で、再度、岡三沢5・6丁目地区の早期移転に対する緊急要望を行いました。

その結果として国からは、「見直し後の騒音区域については、年内に市に対し説明があり、令和9年度に個人移転が可能となる」との回答を得ることができました。

今後におきましても、住民の不安解消はもとより、一日でも早く当該の移転要望が叶うよう、移転事業の進捗を注視してまいります。



▲金子防衛大臣政務官（写真中央右）へ表敬する加澤議長、小比類巻委員長、佐々木副市長。

学校等整備対策特別委員会

◎瀬崎 雅弘　○久保田 隆二　小比類巻 大見　鈴木 重正
遠藤 泰子　下山 光義　奥本 菜保巳　堤 喜一郎

8月19日に開催しました委員会では、「子育て支援施設」、「保健・福祉施設」及び「医療施設」を案件に調査・審議を行いました。

子育て支援施設として、中央保育所、夢ふれあい館、児童館、児童センター及び三沢キッズセンターそらいえについて、保健・福祉施設として、保健相談センター、老人福祉センター及び総合社会福祉センターについて、医療施設として三沢市立三沢病院について、施設概要、事業費・利用者数、管理の課題、今後の基本方針等について説明がありました。

委員からは、公共施設等総合管理計画全般的なこととして、「公共施設等総合管理計画において用途廃止と決定されている施設の解体費用の見込額は、本計画の期間である30年間における更新費用に上乗せになるのか」との質問が出され、執行部からは「維持更新費用には解体費用は含まれていないが、総務省の交付税措置が拡充され、施設数が減少する場合などには国からの助成が見込まれる」との回答がなされました。さらに、PPP／PFIの現在の検討状況について質問があり、執行部からは、「新たに建設した焼却炉施設については民間力を活用した施設として実施した」との回答がありましたが、現在の検討状況については明確な回答はありませんでした。また、「市の公共施設全般をマネジメントして進めていく体制を取っていただきたい」との意見が出され、執行部からは「検討組織のメンバーに市長や副市長を加えることも含めた組織体制の見直しについて、他の自治体を参考にしながら検討してまいりたい」との回答がなされました。

▲三沢市立中央保育所は老朽化から令和9年末で廃止の方向性が示されている。

◎：委員長　○：副委員長

総務文教常任委員会

◎下山光義　○春日洋子　浅野一朗
佐々木卓也　西村盛男　堤喜一郎

本委員会は、8月7日及び21日に委員会を開催いたしました。

8月7日に開催された委員会では、7月の参議院議員通常選挙における開票確定時間についての報告及び市内一部地区への選挙公報配付漏れについて、所管事務調査を行いました。

開票確定時間が遅れた要因として開票立会人に対し適切な役割分担ができていなかったことなどが挙げられ、今後は立会人に役割の説明などを徹底していくとの説明がありました。

また、選挙公報の配付漏れについては、配付済みのチェック体制づくりや委託先の再検討など改善に向け取り組んでいくとの説明がありました。

一方、今回の選挙では、投票率が県内10市で最高の数値でありましたので、選挙管理委員会には、引き続き投票率向上への取組を進めていただき、今後の選挙においては万全な体制で臨んでいただきますことを要望いたしました。

次に、8月21日に開催された委員会では、「三沢市教育振興基本計画について」と、「いじめ及び不登校等の状況と対策について」を調査いたしました。

三沢市教育振興基本計画は、令和7年度からの5年間を計画期間とし、「世界と向き合いミサワの未来を担う人づくり」という基本理念のもと、基本方針に基づき、より具体的な事業と取組をまとめたアクションプランについてなど、計画の概要を確認いたしました。

また、いじめ及び不登校の状況と対策については、三沢市の現状として、いじめの件数及び不登校等の件数のどちらも全国水準より少ないものの、小・中学校ともに増加傾向にあるとの報告があり、いじめの内容や不登校になったきっかけなども示されました。

いじめを防止し被害者を守るためにも、更なる防止策の強化に努めていただき、不登校児童についても一人の生徒も取り残さないように万全な支援体制で対応していただきたいと思います。

産業建設常任委員会

◎舩見昌功　○澤口正義　小比類巻大晃
鈴木重正　小比類巻雅彦　馬場騎一

8月19日に開催した本委員会では、「近年の企業誘致について」を案件に調査しました。

三沢市の誘致実績は、本年4月に㈱プレステージ・インターナショナルが、外部企業のコールセンター業務を請け負うＢＰＯ事業を開始したことにより、計17社になったと説明があり、委員からは、㈱プレステージ・インターナショナル青森ＢＰＯ三沢ブランチ（以下、同社）の現従業員数と、三沢市民の割合について質問があり、「従業員数は54名であり、うち三沢市民は31名である」との回答がありました。

同日、同社への現地視察を実施し、同社社員から従業員54名のうち約8割が女性であること、総席数は１０４席あり、今期中に7～8割の稼働を目指すとの説明がありました。委員からの質問では、「事業所開設場所として三沢市を選んだ理由」に対し、「三沢市は女性の働く場が少なく、雇用を生んで活性化させたい思いがあった」。また、「高卒や新卒採用に向けての取組状況」に対しては、「市内や近隣の高校に働きかけ、インターンシップや職場見学の受入れを行っている」との回答がありました。今後の展望として、「従業員数を増やし、規模拡大を図りたい」との話がありましたので、今後の事業展開に注目してまいります。

企業誘致は、雇用の創出だけではなく、経済活性化や税収の増加も見込まれ、持続可能なまちづくりを推進するために重要な取組であります。若者や女性をはじめとする求職者の様々なニーズに対応可能となる多様な業種の企業誘致について、市として積極的に取り組まれることに期待します。

▲カフェスペースで同社社員（写真右）から説明を受ける委員。明るい室内には福利厚生としてマッサージマシンなども設置されている。

◎：委員長　○：副委員長

民生常任委員会

◎遠藤泰子　○久保田隆二
奥本菜保巳　瀬崎雅弘　小比類巻孝幸

8月18日に開催いたしました民生常任委員会では、消防本部所管の「DNARについて」と「住宅防火対策について」及び三沢市立三沢病院所管の「透析患者の受入状況について」を案件に調査いたしました。

「DNAR(蘇生措置拒否)について」では、終末期の傷病者が心肺蘇生等を希望しない場合の救急隊員の新たな活動方針が7月28日から施行されたことから、その概要について報告がありました。

「住宅防火対策について」では、近年の住宅火災による死者数は、65歳以上の高齢者を占める割合が7割以上と高水準である。今後その割合は、増加が予想されることから、住宅における効果的な防火対策を高齢者やその家族自らが行えるよう防火広報活動の推進が喫緊の課題であるとの説明がありました。それらの現状を踏まえ、消防本部の取組状況や市内の住宅用火災報知器の設置率及び設置率向上対策と、三沢市防災協会と共同による高齢者世帯に対する住宅用火災報知器の無料取付、住宅防火診断を再開するなどの説明がありました。

「透析患者の受入状況について」では、青森県の透析治療患者数は減少傾向にあるが、三沢市立三沢病院における透析治療患者数は増加傾向にある。今後においても透析医療体制の維持が必要と考えているとの説明がありました。

今後におきましても当委員会では、三沢市民の福祉向上のため、当局の取組を注視し、必要に応じて調査や提言を行ってまいります。

◎：委員長　○：副委員長

住宅防火対策チェック表

○ご自身で家庭環境に合った防火診断（○×方式）を行い、火災を未然に防ぎましょう！

項目	質問・チェック項目	判定
調理器具（コンロ）	コンロから火を消さず離れることはありませんか？	
	コンロの周りに燃えやすいものを置いていませんか？	
	ガスホースにひびが入っていませんか？	
暖房器具（ストーブ）	ストーブの近くに燃えやすいものがありませんか？	
	ストーブで洗濯物等を乾かしていませんか？	
	火を消してから給油を行っていますか？	
電気器具	タコ足配線をしていませんか？	
	コンセントにほこりがたまっていませんか？	
	コードを束ねて使用していませんか？	
たばこ	寝たばこをしていませんか？	
	灰皿に吸い殻をためていませんか？	
	吸い殻は水につけてこまめに捨てていますか？	

▲簡易的な住宅防火対策チェック表の例。
○が少なかったり、×が一個でもあると要注意。

行政視察報告

①：日程　②：視察先　③：視察案件

他自治体の先進事例を学び、市政に活かします！

議会改革推進会議

①7月30日～8月1日
②北海道岩見沢市・栗山町
③議員定数と議員報酬について（岩見沢市）/ 議員定数（削減の経緯と現状）について（栗山町）/ 議会改革に関する取組について（両自治体）

堤　喜一郎

①8月22日
②宮城県気仙沼市
③ふるさと納税について

広報広聴委員会

①9月30日～10月2日
②奈良県王寺町・三重県伊賀市
③議会広報誌の編集について、議会広報誌　クリニック（王寺町）/ 議会広報誌の編集について（伊賀市）/ その他議会広報広聴活動に係る取組について（両自治体）

馬場騎一、瀬崎雅弘、加澤明、佐々木卓也、下山光義、小比類巻孝幸、舩見昌功、久保田隆二、小比類巻大晃、浅野一朗

①10月15日～10月17日
②石川県金沢市・小松市
③金沢県立図書館（金沢市）/ 小松基地対策について（小松市）

学校等整備対策特別委員会

①10月20日～10月22日
②山梨県甲州市・南アルプス市
③中学校の統合について、甲州市公共施設等総合管理計画について（甲州市）/ 南アルプス市公共施設等総合管理計画について（南アルプス市）

視察報告は順次、市 web サイトに掲載しています。

市議会の動き

10　月
４日　令和７年度三沢市総合防災訓練
６日　岡三沢町内会陳情
８日　青森県市議会議長会議員研修会（～９日）
１４日　広報広聴委員会
１５日　市民クラブ個人研修視察（～１７日）
２０日　学校等整備対策特別委員会行政視察（～２２日）

三沢市総合防災訓練

10月４日、道の駅みさわ、斗南藩記念観光村で行われた令和７年三沢市総合防災訓練に議員１４人が参加しました。青森県東方沖を震源とするマグニチュード９．１の地震が発生した想定で、北部沿岸地域からの避難訓練を行いました。各種団体、北部の自主防災会の皆さまと参加し、有事への準備の大切さを再確認しました。

引き続き、市民の皆さま一人ひとりの備えと、地域の連携を大切にしていきましょう。

7　月
３０日　議会改革推進会議行政視察（～８月１日）
8　月
４日　議会改革推進会議
７日　総務文教常任委員会
１８日　民生常任委員会
１９日　学校等整備対策特別委員会
産業建設常任委員会
２０日　移転に関わる緊急要望（～２１日）
２１日　総務文教常任委員会
２２日　堤議員個人研修視察
２５日　浜三沢町内会陳情
２６日　議会運営委員会
9　月
１日　令和７年第３回定例会開会
４日　議会運営委員会
令和７年第３回定例会一般質問
５日　令和７年第３回定例会一般質問
８日　令和７年条例等審査特別委員会
９日　令和７年補正予算審査特別委員会
１０日　令和７年決算審査特別委員会
１２日　議会運営委員会
令和７年第３回定例会閉会
広報広聴委員会
２９日　議会改革推進会議
３０日　広報広聴委員会行政視察（～１０月２日）

令和７年第４回定例会

会　期　日　程

日	月	火	水	木	金	土
11／17	１８	１９	２０	２１	２２	２３
			議会開会の告示・招集			
２４	２５	２６	２７	２８	２９	３０
	議会運営委員会					
11／30	12／1	2	3	4	5	6
	議会開会			本会議（一般質問）		
7	8	9	１０	１１	１２	１３
	条例等審査特別委員会	補正予算審査特別委員会		議会閉会		

※ 会期日程は変更になることがあります

あなたも市議会を傍聴しませんか

市議会の会議は本会議、委員会等含め、どなたでも傍聴することができます。
三沢市では毎年４回、原則３・６・９・１２月に定例会が開かれます。

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。
議会を傍聴することで、議員活動や市政の動きなどを知る機会にもなります。

ぜひお気軽にお越しください！

場所は市役所本館４階です。
お問い合わせは議会事務局まで！

〒033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38 TEL 53-5500 FAX 52-7527
編集：三沢市議会広報広聴委員会　E-mail msw_gikai@misawashi.aomori.jp

もう一度行きたい！三沢市夏・秋イベントスナップ

ナイス！ミサワ

三沢市では、三沢まつりや七夕まつりなどこの夏から秋にかけて、ご家族やお友達で楽しめるイベントがたくさん開かれました！その一部を振り返りながらご紹介いたします。今年参加できなかったイベントはぜひ、来年参加してみてくださいね

七夕まつり

7月

下旬は七夕まつり。吹き流しを潜り抜けるだけでも楽しそう♪

三沢まつり

8月

今年、三沢祭遊志会参加により１３祭礼になった夏の一大イベント三沢まつり。三沢まつりの今後の更なる盛り上がりに期待します！

流し踊りパレード

8月

三沢まつり中日に行われる流し踊りに今年は約６００人が参加したとのこと。盛り上がりの一助となれるよう議会からも参加しました！

馬フェス

夏
秋

道の駅みさわで夏・秋開催されました。
馬のマスクを被って疾走する馬っこレースなどおもしろいイベントも！
馬とのふれあいはいつでも可能です

MISAWA シーサイドフェスティバル

夏

ビードルビーチで開催！花火だけではなく、ウォータースライダーや水鉄砲バトルなどのイベントも盛りだくさん

終わりに

三沢市議会だより「きずな」をお読みいただきありがとうございます。今号の紙面はいかがでしたでしょうか。広報広聴委員会では今年度、議会の内容をさらにわかりやすく、市民の皆様にお伝えできることを目的とした先進地視察を行いました。視察先では広報アドバイザーの方による「きずな」の誌面クリニックを実施していただき、その貴重なアドバイスを基に改善を行っております。これからも親しみを感じていただける誌面を目指してまいりますので、引き続きご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

小比類巻孝幸

広報広聴委員会

委員長　小比類巻　孝幸
副委員長　遠藤　泰子
委員　小比類巻　大晃
久保田　隆二
瀬崎　雅弘
春日　洋子
堤　喜一郎